

# 企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 287社、回答企業 182社、回答率 63.4%
調査対象期間	2022年1～3月期の実績見込み、4～6月期および7～9月期の予想
調査時点	2022年3月上旬～4月上旬

## 要約

### 2022年1～3月期の業況判断(季節調整済)はほぼ横ばい 先行き4～6月期は改善するも、7～9月期は悪化に転じる見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSI(季節調整済)について、2021年10～12月期と比べ2022年1～3月期(前期→当期:△10→△9(+1ポイント))はほぼ横ばいであった。なお、前回調査時の予想(△3)と比べると悪化した。業種別では、非製造業(同:△10→△9)がほぼ横ばいの一方、製造業(同:△9→△14)は悪化した。1月中旬から3月中旬頃まで新型コロナウイルスの感染が拡大した影響などから、前回調査時の予想から悪化した。もっとも、コロナ禍が2年以上継続していることもあり、最悪期(2020年4～6月期:△50)に比べれば落ち着いて推移している。

なお、売上げBSI(同:1→9)、収益BSI(同:△12→△5)はともに改善した。

先行きの業況判断BSIは4～6月期予想は△3と改善するも、続く7～9月期予想は△13と悪化に転じる見通し。新型コロナウイルスの感染状況や円安の進行、原材料およびエネルギーの価格上昇、また上海のロックダウンによる中国の景気停滞、ロシアのウクライナ侵攻といった国際情勢などさまざまな要因により、先行きの不透明感が長期化する懸念が現れている。

2022年1～3月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ2.2ポイント低下した一方、総投資額は約465億円で同183.3%の大幅増であった。業種別では、製造業が同208.8%増、非製造業が同14.9%増と、製造業の増加が全体を押し上げるかたちとなった。先行き4～6月期の計画は、実施企業の比率は前年同期より1.9ポイント上昇、総投資額は約485億円で同65.9%増、続く7～9月期は、約293億円で同12.2%減と2021年1～3月期以来6期ぶりにマイナスに転じる見込み。

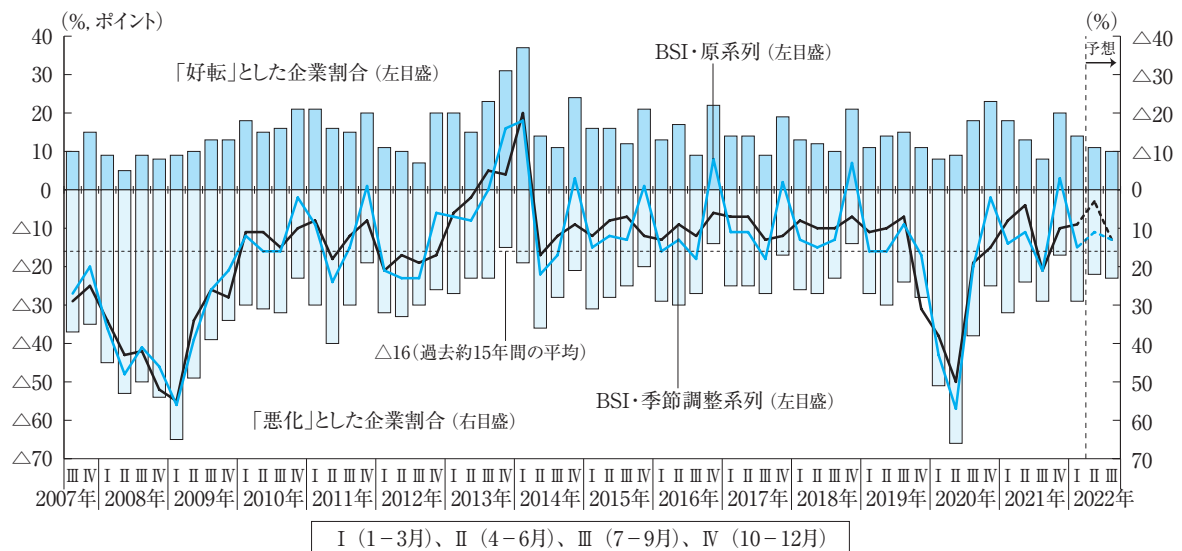
なお、今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも改善している。

1. 概況  
(全業種)

【2022年1～3月期の実績見込み】 業況判断は前期からほぼ横ばい

県内企業の当期(2022年1～3月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、前期と比べ、業況判断BSI(△10→△9)はほぼ横ばい的一方、売上げBSI(1→9)、収益BSI(△12→△5)は改善した。1月中旬から3月中旬頃まで新型コロナウイルスの感染が拡大した影響などから、業況判断BSIは前回調査における予想(△3)と比べると悪化している。もっとも、コロナ禍が2年以上継続していることもあり、最悪期(2020年4～6月期:△50)に比べれば落ち着いて推移している。

企業経営者による業況判断

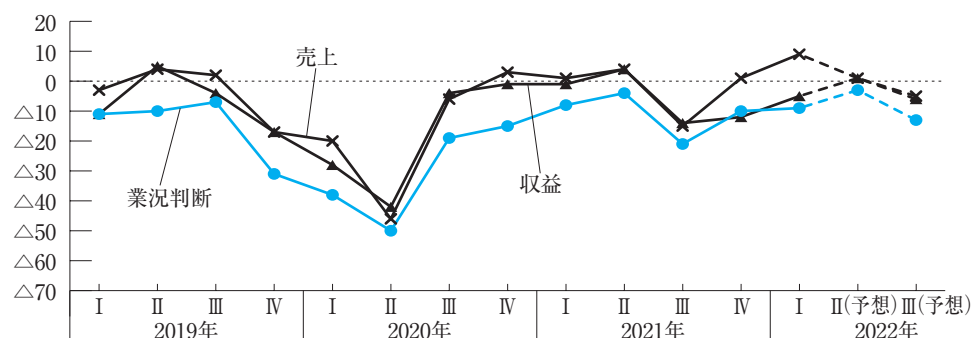


注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【4～6月期・7～9月期の予想】 業況判断は4～6月期は改善するも、7～9月期は悪化に転じる見通し

2022年4～6月期の予想は、1～3月期に比べ売上げBSI(9→1)は悪化の一方、

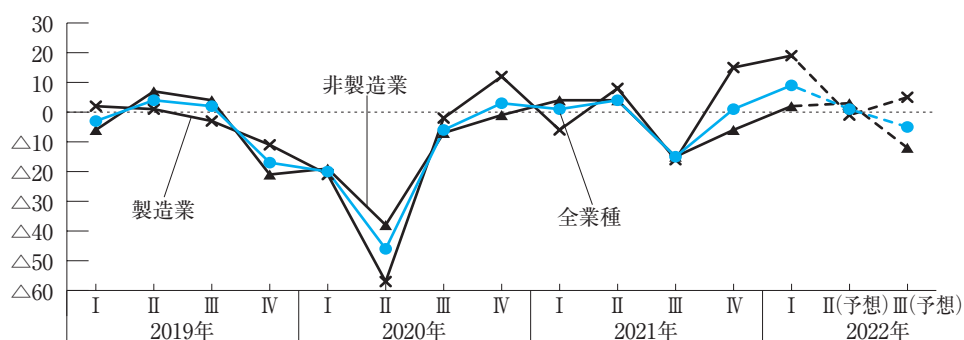
全業種BSI



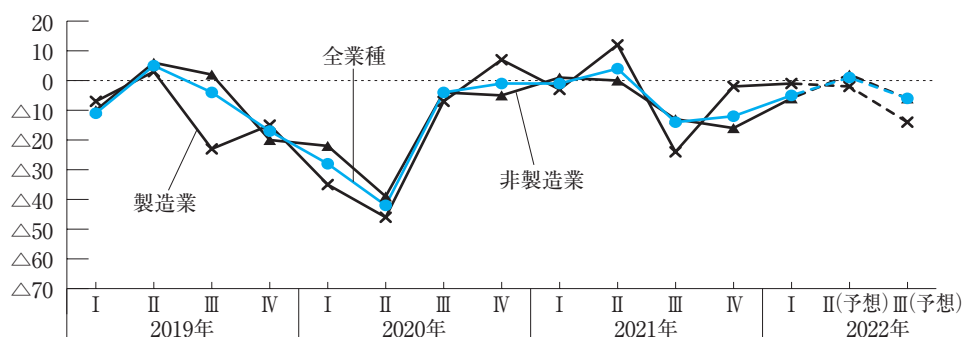
収益BSI ( $\Delta 5 \rightarrow 1$ )、業況判断BSI ( $\Delta 9 \rightarrow \Delta 3$ )はともに改善の見通しである。なお、この業況判断BSIは、過去約15年(2007年4~6月期以降)の平均( $\Delta 16$ )と比べても改善している。続く7~9月期は、売上げBSI ( $1 \rightarrow \Delta 5$ )、収益BSI ( $1 \rightarrow \Delta 6$ )、業況判断BSI ( $\Delta 3 \rightarrow \Delta 13$ )とすべての項目で悪化する見通し。

新型コロナウイルスの感染状況や円安の進行、原材料およびエネルギーの価格上昇、また上海のロックダウンによる中国の景気停滞、ロシアのウクライナ侵攻といった国際情勢などさまざまな要因により、先行きの不透明感が長期化する懸念が現れている。

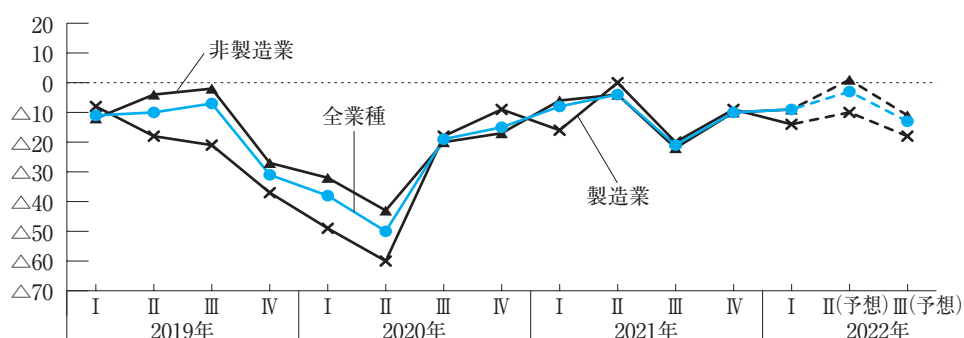
### (1) 売上げBSI



### (2) 収益BSI



### (3) 業況BSI



## 2. 製造業の動向

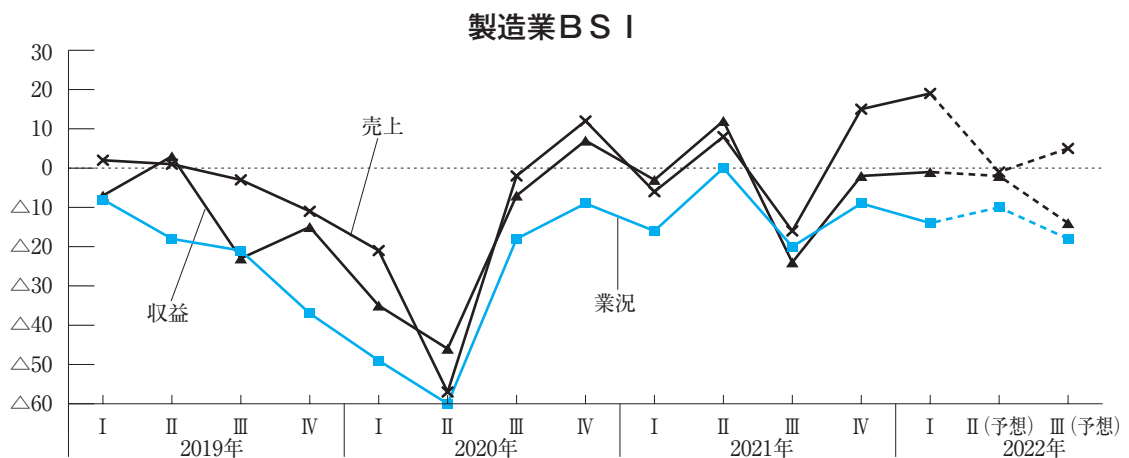
### 【製造業の現状】 業況判断は悪化

当期は、前期と比べ、売上げ BSI (15→19)は改善、収益 BSI ( $\Delta 2 \rightarrow \Delta 1$ )はほぼ横ばい、業況判断 BSI ( $\Delta 9 \rightarrow \Delta 14$ )は悪化した。業況判断 BSI については、業種別にみると、前期に比べほとんどの業種で悪化しており、円安の進行や原材料およびエネルギーの価格上昇、悪化する国際情勢などが影響していると考えられる。

### 【先 行 き】 業況判断は4～6月期は改善するも、7～9月期は再び悪化の見通し

2022年4～6月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI (19→ $\Delta 1$ )は悪化、収益 BSI ( $\Delta 1 \rightarrow \Delta 2$ )はほぼ横ばい、業況判断 BSI ( $\Delta 14 \rightarrow \Delta 10$ )は改善となっている。続く7～9月期の予想は、4～6月期に比べ、売上げ BSI ( $\Delta 1 \rightarrow 5$ )は改善するものの、収益 BSI ( $\Delta 2 \rightarrow \Delta 14$ )、業況判断 BSI ( $\Delta 10 \rightarrow \Delta 18$ )はともに悪化する見通し。

業況判断 BSI については、原材料価格の上昇や半導体不足などの影響が引き続きみられるほか、新型コロナウイルスの感染状況や円安の進行、国際情勢悪化に伴う経済活動の停滞などの懸念材料が根強いことを反映している。



## 3. 非製造業の動向

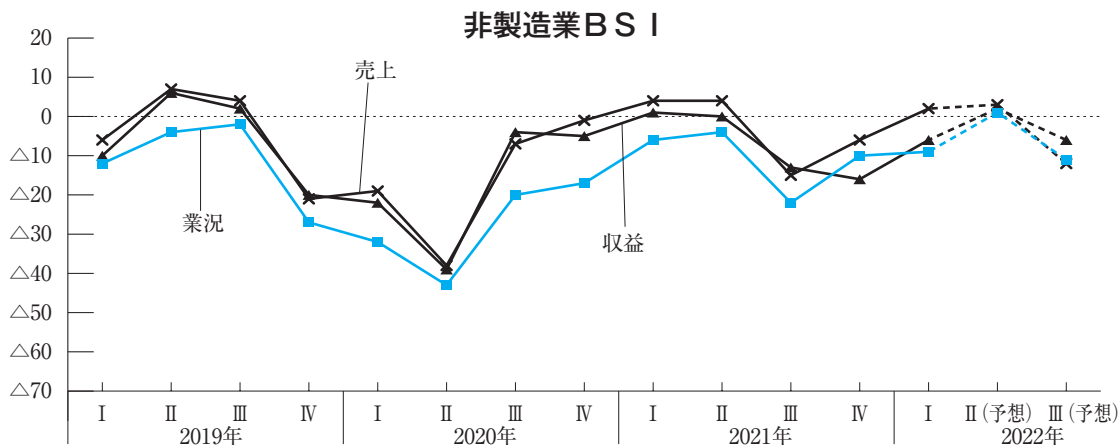
### 【非製造業の現状】 業況判断はほぼ横ばい

当期は、前期に比べ、売上げ BSI ( $\Delta 6 \rightarrow 2$ )、収益 BSI ( $\Delta 16 \rightarrow \Delta 6$ )はともに改善した一方、業況判断 BSI ( $\Delta 10 \rightarrow \Delta 9$ )はほぼ横ばいであった。業況判断 BSI については、1月中旬以降の新型コロナウイルス感染の急拡大により、自粛ムードが高まったことで、前回調査時の予測(0)と比べると悪化している。

### 【先 行 き】 業況判断は、4～6月期は改善するも、7～9月期は悪化に転じる見通し

2022年4～6月期以降の予想をみると、先行きの推移（当期→4～6月期→7～9月期）は、収益BSI（△6→2→△6）、売上げBSI（2→3→△12）、業況判断BSI（△9→1→△11）と4～6月期に改善するものの、7～9月期には悪化に転じる見通し。

業況判断BSIについては、新型コロナウイルスの感染拡大が3月中旬頃にやや落ち着き、人出が戻りつつあることがプラスに働いている一方で、食料品やエネルギーの価格上昇などにより、先行きに対する不透明感は高まっていることが示されている。

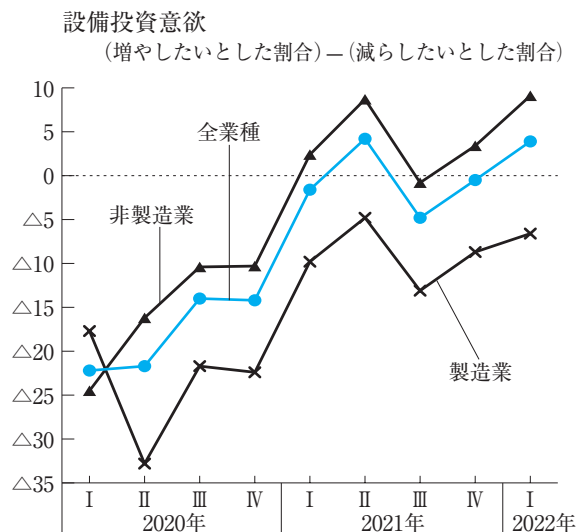


## 4. 設備投資の動向

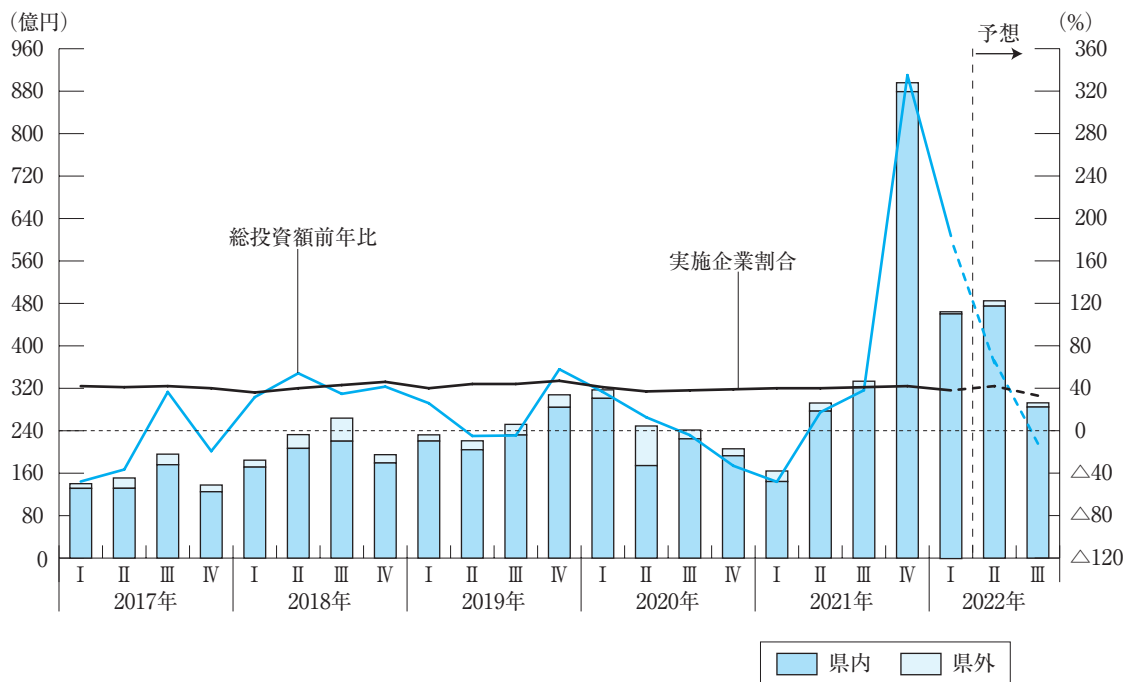
回答企業（全産業）のうち、2022年1～3月期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の37.9%、総投資額は465億16百万円（県内投資額は461億9百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、全体で183.3%の大幅増（前期比48.1%減）で、内訳は、製造業が同208.8%増、非製造業が同14.9%増であった。なお、実施企業の割合は、2.2ポイント低下となった。

先行きの計画をみると、4～6月期の実施企業割合は42.3%で前年同期より1.9ポイント上昇、総投資額は約485億円で前年同期比65.9%増、続く7～9月期の総投資額は約293億円で同12.2%減となる見込み。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が19.8%、「減らしたい」が15.9%、「ほぼ変わらない」が64.3%であった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業で3.9ポイント（前期△0.5ポイント）と3期ぶりにプラスとなった。業種別では、製造業が△6.6ポイント（同△8.7ポイント）、非製造業が9.1ポイント（同3.4ポイント）とともに上昇した。



## 設備投資額（支払ベース）



## 製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、49.2%で前年同期より4.9ポイント低下した。総投資額は、440億34百万円（前年同期142億58百万円）で、大手の化学、電気機械などで増加したことを主因に前年同期比208.8%の大幅増となった。うち、県内投資額は437億20百万円（同126億61百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」、「合理化・省力化」の比率が低下した一方、「研究開発」、「環境対策」、「既存設備の補修更新」などで上昇した。

先行きの計画をみると、4～6月期の総投資額は約459億円で前年同期比66.3%増、続く7～9月期は約272億円で同9.4%減の見込みである。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（16.4%）が「減らしたい」（23.0%）を6.6ポイント下回り、9期連続のマイナスとなった。

## 非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、32.2%で前年同期より1.1ポイント低下した。総投資額は、24億82百万円（前年同期21億60百万円）で、建設業やサービス業などで増加がみられ、同14.9%増となった。県内投資額は23億89百万円（同17億70百万円）となっている。

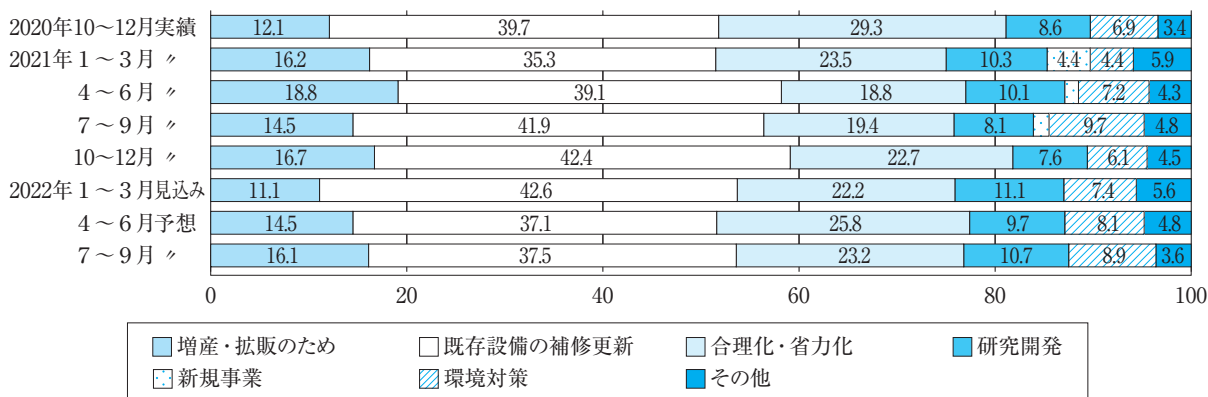
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」、「拡販のため」、「店舗等の移転」などの比率が低下した一方、「新規事業」、「研究開発」、「合理化・省力化」が上昇した。

先行きの計画をみると、4～6月期の総投資額は約25億円で前年同期比58.1%増、続く7～9月期は約20億円で同38.4%の減少となる見込み。

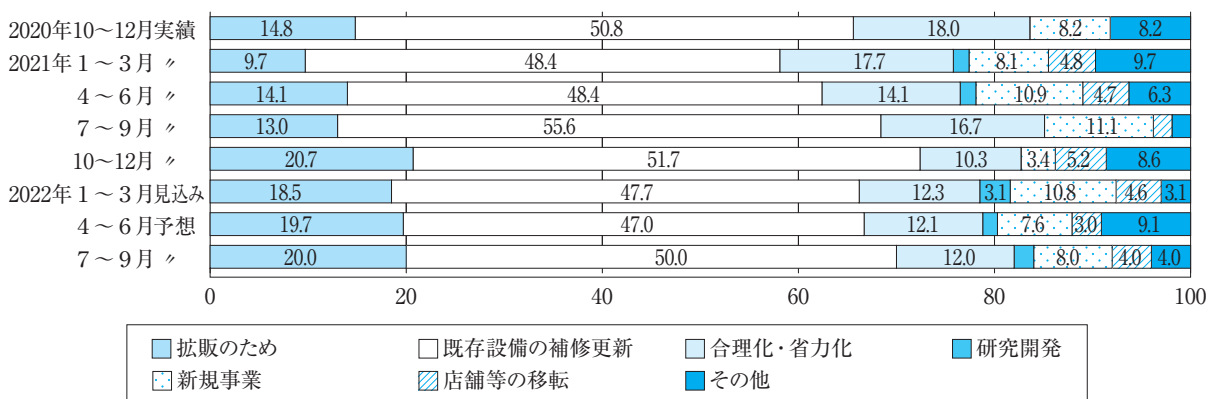
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（21.5%）が「減らしたい」（12.4%）を9.1ポイント上回り、2期連続のプラスとなった。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	1	0	1
	5～10百万円未満	5	2	3
	10～50百万円未満	103	29	74
	50～1億円未満	47	20	27
	1億円以上	26	10	16
	計	182	61	121
従業員数	10人未満	20	3	17
	10～30人未満	31	10	21
	30～50人未満	36	12	24
	50～100人未満	37	9	28
	100～200人未満	23	7	16
	200～300人未満	18	9	9
	300～	17	11	6
計	182	61	121	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		12
	繊維製品		3
	木材・木製品		7
	パルプ・紙		3
	化学工業		8
	窯業・土石		3
	機械・金属		17
	その他		8
	計		61
非製造業	建設業		14
	運送業		11
	卸売業		32
	小売業		27
	サービス業		36
	その他		1
計		121	
総数		182	

## 参考資料

## B S I

## (1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年7～9月実績	18	44	38	△20	△19	20	37	43	△23	△18	18	46	36	△18	△20
10～12月々	23	52	25	△2	△15	26	52	22	4	△9	21	53	26	△5	△17
2021年1～3月々	18	50	32	△14	△8	16	46	38	△22	△16	19	52	29	△10	△6
4～6月々	13	63	24	△11	△4	16	65	19	△3	0	12	61	27	△15	△4
7～9月々	8	63	29	△21	△21	5	65	30	△25	△20	10	61	29	△19	△22
10～12月々	20	63	17	3	△10	26	53	21	5	△9	18	66	16	2	△10
<b>2022年1～3月見込み</b>	<b>14</b>	<b>57</b>	<b>29</b>	<b>△15</b>	<b>△9</b>	<b>11</b>	<b>58</b>	<b>31</b>	<b>△20</b>	<b>△14</b>	<b>15</b>	<b>57</b>	<b>28</b>	<b>△13</b>	<b>△9</b>
4～6月予想	11	67	22	△11	△3	13	61	26	△13	△10	10	70	20	△10	1
7～9月々	10	67	23	△13	△13	8	62	30	△22	△18	12	68	20	△8	△11

## (2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年7～9月実績	32	30	38	△6	△6	35	23	42	△7	△2	32	32	36	△4	△7
10～12月々	45	32	23	22	3	57	22	21	36	12	40	36	24	16	△1
2021年1～3月々	27	32	41	△14	1	21	23	56	△35	△6	30	37	33	△3	4
4～6月々	30	40	30	0	4	42	34	24	18	8	24	43	33	△9	4
7～9月々	23	39	38	△15	△15	23	33	44	△21	△16	23	42	35	△12	△15
10～12月々	40	40	20	20	1	57	26	17	40	15	32	47	21	11	△6
<b>2022年1～3月見込み</b>	<b>28</b>	<b>37</b>	<b>35</b>	<b>△7</b>	<b>9</b>	<b>30</b>	<b>29</b>	<b>41</b>	<b>△11</b>	<b>19</b>	<b>27</b>	<b>41</b>	<b>32</b>	<b>△5</b>	<b>2</b>
4～6月予想	23	52	25	△2	1	34	41	25	9	△1	16	58	26	△10	3
7～9月々	20	55	25	△5	△5	25	50	25	0	5	17	57	26	△9	△12

## (3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2020年7～9月実績	31	31	38	△7	△4	33	25	42	△9	△7	30	35	35	△5	△4
10～12月々	41	34	25	16	△1	50	24	26	24	7	37	38	25	12	△5
2021年1～3月々	28	37	35	△7	△1	28	28	44	△16	△3	28	41	31	△3	1
4～6月々	26	43	31	△5	4	35	39	26	9	12	21	45	34	△13	0
7～9月々	20	43	37	△17	△14	18	39	43	△25	△24	21	45	34	△13	△13
10～12月々	30	45	25	5	△12	47	22	31	16	△2	23	55	22	1	△16
<b>2022年1～3月見込み</b>	<b>24</b>	<b>41</b>	<b>35</b>	<b>△11</b>	<b>△5</b>	<b>26</b>	<b>33</b>	<b>41</b>	<b>△15</b>	<b>△1</b>	<b>22</b>	<b>46</b>	<b>32</b>	<b>△10</b>	<b>△6</b>
4～6月予想	19	54	27	△8	1	26	44	30	△4	△2	15	59	26	△11	2
7～9月々	17	57	26	△9	△6	18	49	33	△15	△14	17	60	23	△6	△6

(注) B S I = (好転) - (悪化)